

倫理問題

(令和 5 年度 国際信州学院大学法学部)

【注意事項】

1. 試験時間は 100 分である。
2. 試験開始の合図まで、この問題冊子を開いてはいけない。ただし、表紙はあらかじめよく読んでおくこと。
3. 問題冊子に落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所等があった場合および解答用紙が不足している場合は、手をあげて監督者に申し出ること。
4. 試験開始後、解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入すること。
5. 回答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。解答用紙の裏面に記入してはいけない。
6. 解答用紙を切り離したり、持ち帰ってはいけない。
7. 問題冊子の中の白紙部分は下書き等に使用してよい。
8. 試験終了時刻まで退室を認めない。試験中の気分不快やトイレ等、やむを得ない場合には、手をあげて監督者を呼び指示に従うこと。
9. 試験終了後は問題冊子を持ち帰ること。

1

以下は、隆司サトシ『キクラゲ的官能』（国際信州学院大学出版会, 2013）からの抜粋である。実存主義に対するあなた自身の立場から、本文の内容に対する見解を自由に述べなさい。

ここで、キクラゲについて実存主義的視点から考察したいと思う。実存主義とキクラゲ、この二つは一見無関係に見えるが、深く掘り下げていくと共通点が見出せる。まず、両者ともに自らの存在意義を問われることが多い。実存主義者は、「人間は何故存在するのか？」や「人間はどう生きるべきか？」などの根源的な問いに直面し、自己決定的な選択を迫られる。キクラゲもまた、「キノコだけど野菜だったりするんですか？」や「味があまりしないけど何故食べるんですか？」などの疑問を投げかけられ、自身のアイデンティティーを確立する必要がある。

また、両者ともに他者から理解されにくいことがある。実存主義者は、「人間は本質を予め定められていない」という主張や、「自由」や「責任」や「不安」などの概念を重視することで、一般的な価値観や道徳観から外れたり孤立したりすることがある。キクラゲもまた、「黒くてカサカサしていて不気味」という外見や、「プルプルしていて歯ごたえが変」という食感で他のキノコや野菜から区別されることがある。

しかし、両者はそれぞれ独自の魅力を持っており、その存在価値を否定されることはない。実存主義者は、「人間は自ら創造し決定する存在である」という前向きな姿勢や、「人間は他者から切り離せない共同体的存在である」という連帯感を持っており、自分の生活を充実させることが出来る。一方キクラゲは、「飽和脂肪酸を含まず低カロリーであり、食物繊維やカルシウムなどの栄養素が豊富である」という健康的な特徴を持っており、さまざまな料理に応用できるゆえに、多くの人に愛され続ける食材の一つとなっている。

この他にも、実存主義とキクラゲという二つのテーマには興味深い一致点

があり、両者が根底で繋がりを持つことが示唆される。ヴェールに覆われた真実をこのように一つずつ明らかにしていくことを通して、私たちは自分自身や他者や世界に対する新しい視点を得ることができる。実存主義者もキラゲも、「存在することそのものが意味を持つ」というメッセージを私たちに伝えてくれるのではないだろうか。

2

以下に示す語句の中から 3 つを選び、その要旨をそれぞれ説明しなさい。

- i. エピステーメー (épistémè)
- ii. ギュゲースの指輪 (Ring of Gyges)
- iii. 自己同一性 (identity)
- iv. 真諦／俗諦 (paramārtha satya/saṃvṛtisatya)
- v. モナド (monad)
- vi. 最小国家 (minimal state)

3

バーチャル YouTuber (VTuber) のアバターのシミュラクル性、なら
びにそれが「中の人」や配信内容の形成に与える影響を論じなさい。

4

フッサールの時間論において、時間的对象の構成 (Konstitution) を志向
作用として解釈することで生じる問題を述べ、それに対してあなたが考える
解答を示しなさい (解答とは例えば、その問題はかくかくしかじかの理由に
より解決できない、あるいはかくかくしかじかの方法によりこのように解決
できる、などといったものである)。

